



※今月のみ受注の書目です。

**哲学**

# フリードリヒ・シラー 自由の美学

## 仮象と遊戯の人間形成論

(2024年4月上旬刊行予定)

鈴木優 (日本大学芸術学部助教)[著]

A5判上製 / 352頁 税込予価 6,600円 ISBN978-4-7664-2960-2 C3010

**ココに注目!**

- ・ドイツ古典主義を完成させた詩人シラーの、哲学者・医者としての側面に着目し、その思想の全貌を考察。
- ・教育学・文学・哲学・歴史などの多岐にわたるシラー研究の業績を統合し、新たなシラー像の確立を目指す意欲作。

詩人フリードリヒ・シラーが生きた18世紀末ドイツは、医学や生理学などの自然科学的、実証的な人間研究が始まったことで、従来の伝統的・宗教的な人間観が崩れ始めた時代であった。医者でもあったシラーは医学や生理学を学び、人間の心身の営みのもつ機械的ともいえる拘束性を目の当たりにする。現実の社会から断絶したところでのみ実現する美的理想は、いかに現実の世界の人間にとっての規範となるのか。長年、シラー研究者を惑わしてきたこの謎に対する答えを提示する。

**対象** ドイツ思想史研究者 / 教育史研究者

**類書** フリードリヒ・フォン・シラー『人間の美的教育について』(法政大学出版局)

青木敦子『影像の詩学』(月曜社)

**ご注文はFAXで! 03-3451-3124**

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		鈴木優 著 フリードリヒ・シラー 自由の美学 — 仮象と遊戯の人間形成論 ISBN978-4-7664-2960-2 C3010	6,600円	★★

★1つで「500部」を表します

**主要目次を裏面に掲載! ぜひご確認ください!**

## 【主要目次】

### 序章 美はいかに人を形成するか

- 一 ドイツ啓蒙主義と自由の探究者
- 二 シラーの生涯と人間形成構想
- 三 本書の構成とシラーを繙く手がかり

## 第一部 哲学的医師シラーによる「人間の使命」の探究

### 第一章 十八世紀ドイツの人間学

- 第一 人間学的転換
- 二 哲学的医師と人間学の誕生
- 三 「人間の使命」をめぐる論争

### 第二章 人間は機械か有機体か

- 一 心身の相互作用への問い
- 二 経験的な人間学の試み
- 三 人間学の二重性

### 第三章「人間の使命」のアポリアと新たな自律の原理

- 一 唯物論の猛々しい攻撃
- 二 牢獄の中の囚人
- 三 宗教的救済から「類」の幸福へ

## 第二部 歴史と人類の使命

### 第四章 「自由と人間性」への移行としての歴史

- 一 歴史への関心の高まり
- 二 キリスト教的歴史から人類の発展史へ
- 三 歴史の中に目的を見る

### 第五章 歴史と文学の狭間で人間形成構想

- 一 古代ギリシャの立法史と「人類の目的」
- 二 歴史を物語る
- 三 歴史的眞実から詩的眞実へ

## 第三部 「美的仮象」の条件と役割

### 第六章 「哲学する時代」における文学の使命

- 一 分裂・分断の時代が必要とするもの
- 二 ビュルガー対シラー
- 三 理想の文学の根本原則
- 四 民衆詩人シラー

### 第七章 近代人のための芸術構想

- 一 目的論的判断と経験の狭隘化
- 二 古代ギリシャという鑑と歴史の超越
- 三 芸術を通じた「回り道」構想

### 第八章 美はなぜ「移行」を可能にするか

- 一 『美的教育書簡』の移行問題
- 二 規定状態からの解放
- 三 仮象、装飾、遊戯の喜びと文化の産出

### 第九章 「美的仮象」の条件

- 一 カント主観主義の乗り越え
- 二 「自由の仮象」としての美がもたらす変化
- 三 美的経験を可能ならしめる芸術の条件
- 四 自然の模倣と世界の表象
- 五 「眞実」を露わにする美的経験

## 結論 文化という陶冶空間と自由

- 一 現実からの解放〈消極的自由〉
- 二 世界との新たな関係〈積極的自由〉
- 三 自由と規範の狭間で人間形成構想

注

参考文献

索引